

南部町の保育の現状と課題について

1 はじめに

第2期子ども・子育て支援事業計画第6章「保育園のあり方について」に示されているように、将来的な保育サービスの充実に向けて保育園のあり方はどうあるべきか具体的な計画（目標）を検討していく必要があります。

2 南部町の保育施設の現状

(1) 南部町の就学前児童数の推移

就学前児童数は平成27年から令和2年の5年間で60名減少しており、今後も減り続けることが見込まれています。

区分	H27	H28	H29	H30	H31	R2
0歳児	62人	61人	57人	63人	54人	52人
1歳児・2歳児	145人	135人	134人	132人	141人	135人
3歳以上児	249人	244人	247人	229人	214人	209人
合計	456人	440人	438人	424人	409人	396人

(2) 入所児童数等の状況

入所児童数の合計は就学前児童数の減少に伴い、減少傾向にあります。ただし年度末になると年の途中に生まれた0歳児を預けるニーズが増えてくるので、例年20人以上増加します。

各年4.1現在

認定区分		H27	H28	H29	H30	H31	R2	
1号 (学校教育)	認定こども園	0	1	3	4	3	3	
	幼稚園	0	0	0	0	5	6	
2号(保育必要)		230	231	236	218	200	195	
3号 (保育必要)	保育園等	0歳	30	28	16	12	8	10
		1-2歳	113	112	105	105	97	87
		計	143	140	121	117	105	97
	地域型	0歳	0	0	1	1	12	1
		1-2歳	0	0	0	0	8	20
		計	0	0	1	1	20	21
3号合計		143	140	122	118	125	118	
2号～3号の合計		373	371	358	336	325	313	

(3) 保育所利用児童割合

就学前児童の保育所利用児童の割合（保育所利用児童数÷就学前の児童数）は、平成17年は全体で66.7%でしたが、平成31年は80.9%と14.2%高くなってきています。

(4) 保育サービスの実施状況

保育ニーズの多様化に伴い、土曜午後開所、延長保育（※1）、乳幼児保育、は6園、障害児保育、は4園で実施しています。一時預かり事業はすみれこども園で実施しています。病児・病後児保育は米子市に事務委託し、実施しています。

（※1）保育短時間認定の方は6園で実施（7:30～8:30、16:30～18:30）保育標準時間認定の方は4園で実施（つくし、さくら、ベアーズ 7:00～7:30、18:30～19:00、さくらキッズ 18:30～19:00）

(5) 待機児童の状況

未満児の受け入れについては、希望する園での受け入れができない状況もありますが、毎年4月時点で待機児童は発生していません。

(6) 保育施設、定員等

すみれこども園は、平成27年に建設された比較的新しい施設です。

3号認定の待機児童対策として平成31年度から小規模保育園ベアーズを開園し、西伯病院事業所内保育のさくらキッズに地域枠を設けています。

R2.4.1 現在

施設名	所在地	施設	管理・運営	定員	入所人数 (※2)	定員充足率	経過年数	建物面積	備考
認定こども園 すみれこども園	法勝寺 1008	公設 公営	町	120人	96人	80%	5年 平成27年建築	1,591 ㎡	木造 一部鉄骨造
つくし保育園	阿賀 869-3	公設 民営	指定管理 ※指定管理者: 社会福祉法人 伯耆の国 (H24.4月～ R4.3月)	120人	85人	71%	30年 平成2年建築	1,026 ㎡	鉄骨造
さくら保育園	天萬 1444-1	公設 民営		90人	59人	66%	39年 昭和55年建築	813 ㎡	鉄筋コンク リート造
ひまわり保育園	市山 746-1	公設 公営	町	60人	54人	90%	37年 昭和58年建築	652 ㎡	鉄筋コンク リート造
小規模保育園 南部町ベアーズ ※平成31年4月 ～開園	東町 4-19	公設 民営	社会福祉法人 尚徳福社会	19人	15人	79%	16年 平成15年建築	220 ㎡	H31.3 改装
さくらキッズ (西伯病院事業 所内保育所) ※平成31年4月 ～認可	倭 397	事業 所内 保育 所	株式会社 アイグラン	地域枠 5人	地域枠 4人	80%	9年 平成23年建築	86 ㎡	地域枠の他 従業員枠 7人
計					313人				

保育士配置状況

年齢	配置基準（県基準を採用）
0歳児	児童3人に対し保育士1名
1歳児	児童4.5人に対し保育士1名
2歳児	児童6人に対し保育士1名
3歳児	児童20人に対し保育士1名
4歳児	児童30人に対し保育士1名
5歳児	児童30人に対し保育士1名

（7）予算規模と保育園費の推移

南部町一般会計における保育園費は、平成26年度が10億5,771万円で一般会計の14.5%を占めています。これはすみれこども園の建設を行ったことによるものです。平成31年度は小規模保育園を開園したため前年度より増額となっています。

一般会計に占める保育園費の割合

(万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
一般会計	730,234	698,797	668,871	695,561	740,779	669,635
保育園費	105,711	39,677	38,008	39,127	39,363	46,475
構成比	14.5%	5.7%	5.7%	5.6%	5.3%	6.9%

3 保育施設の問題・課題

（1）保育士の確保

全国的な保育士不足から、今まで以上に保育士の人材確保が困難となることが予測され、保育園の運営に支障をきたすおそれがあります。

年度中途においては、保育士の配置基準の高い0歳児などの低年齢児の受入れが多いため、中途採用の保育士を必要とします。ハローワークなどを活用し募集を実施していますが、応募が少なく、その確保が困難となっています。

（2）園舎老朽化

町立保育園で最も古いさくら保育園は昭和55年に建設しています。当時とは保育ニーズが変化しているため現代のニーズに応えるためにも老朽化した園舎への建替えや改修が必要です。